院内がん登録は、当院でがんと診断したり治療を行った、すべての患者さんのがん情報を登録する仕組みです。また、2016 年からは「がん登録等の推進に関する法律」により、すべての病院で全国がん登録が始まりました。

これらは、国や自治体では、がん検診等の公共事業の指標として利用されます。また、各医療機関では、がん診療を分析し、医療の質を上げるために利用します。ですから「院内」と呼ばれていても、全国で登録方法が統一されています。

登録項目等、詳細は、国立がん研究センターのホームページをご覧ください。

☞ https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_registry.html

また、千葉県内でがん診療を行っている主だった病院（がん診療連携拠点病院等）により、「がん診療連携協議会」が設置されています。がん診療連携協議会では、がん診療に関する情報の共有、評価、分析及び発信を行うとともに、診療の質向上につながる取組に関して検討しています。この場に集う病院でデータを共有し、冊子を作成することになりました。こちらもご覧ください。

☞ 「千葉県院内がん登録施設別集計 2022 年症例」のご案内 | がん患者ネットワークちば

2022 年の院内がん登録は、全国統一基準に基づいて 1 ,387 件の症例を集計しました。

患者さんの年齢分布では高齢の方の割合が高く、これは地域医療の中で当院が果たしている役割や、他の医療機関から紹介された患者さんを多く受け入れていることを反映していると考えられます。

発見経緯については、検診・健診による発見に加え、他の疾患の経過観察中や自覚症状をきっかけとしてがんの診断に至るケースも多くみられました。

このデータは、院内のがん診療の状況を客観的に示すものであり、今後も診療の質向上と地域医療への貢献に活用していきます。

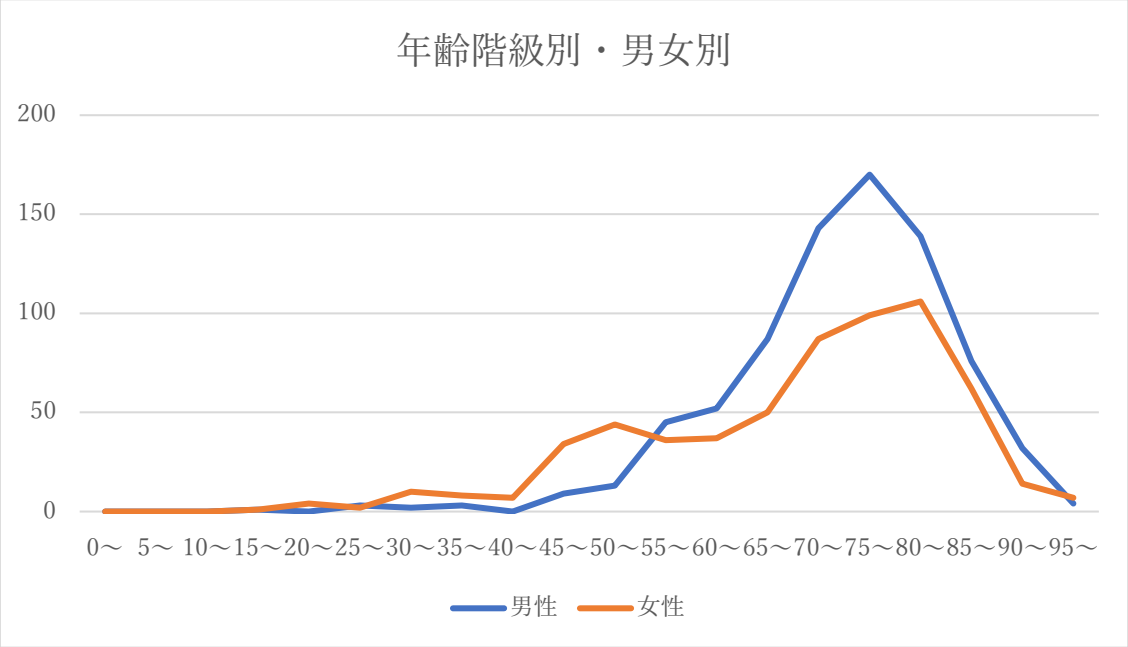
この件に関するお問い合わせは
千葉医療センター　医療情報管理室「がん登録担当者」までお寄せください。
電話：043-251-5311（代表）

【年齢】
がんと診断された時の年齢です。全国平均は 70.9 歳で、当院は 72.3 歳でした。

全国平均	当院平均
70.9 歳	72.3 歳

施設別にみた 75 歳以上の患者さんの割合です。当院は、75 歳以上の患者さんの割合が、全国的にみると少し多いことがわかります。
当院は地域の中核医療機関として、病院・クリニック等複数の医療機関からの紹介患者さんの診療を多く担っています。そのため、75 歳以上の患者さんの割合は高めとなっています。

全国中央値	全国最小値	全国最大値	当院
44.6%	0.0%	81.4%	51.1%

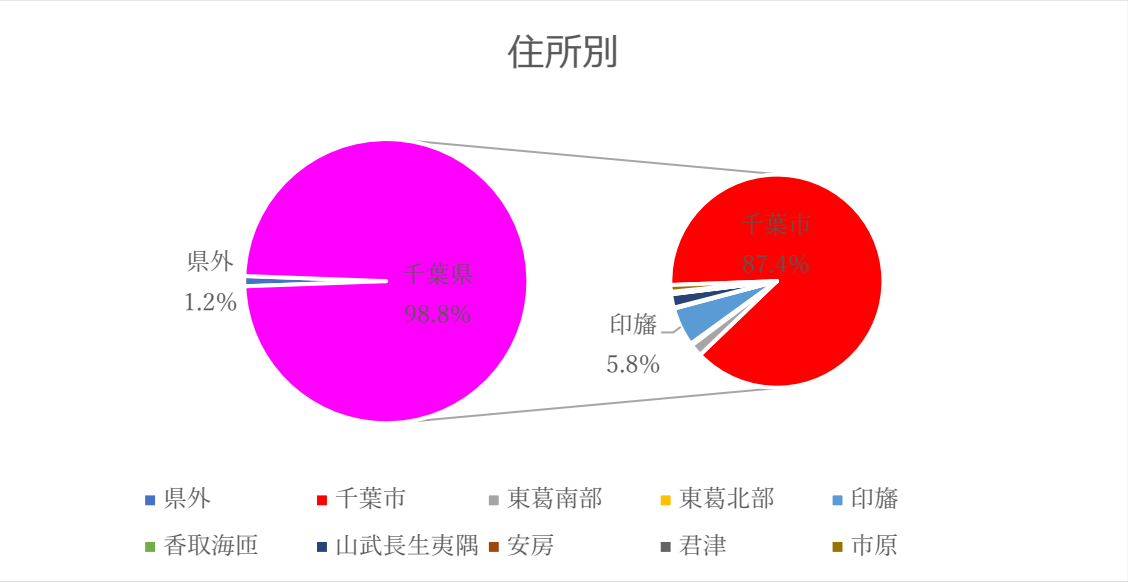


当院の患者さんが、がんと診断された時の年齢を 5 歳刻みで表しました。
男女とも 70 代が一番多いです。80 代の人数も増えています。
また、50 代前半までは女性の方が多く、50 代後半でほぼ同数となり 60 代で男女が逆転します。乳がん、子宮がんといった女性特有のがんは、他のがんに比べて若い世代でも罹患しやすいことが影響していると思われます。

【住所】

同一都道府県から来院している患者さんの割合です。当院は多くの患者さんが同一県内、特に近隣の地域から来院しており、地域医療の中でがん診療を担っていることがわかります。

全国平均	全国最小値	全国最大値	当院
93.6%	76.4%	99.4%	98.8%



がんと診断された時の住所を二次医療圏（注）ごとに表しました。87.4%が千葉市内、次いでお隣の印旛医療圏の人が多いです。

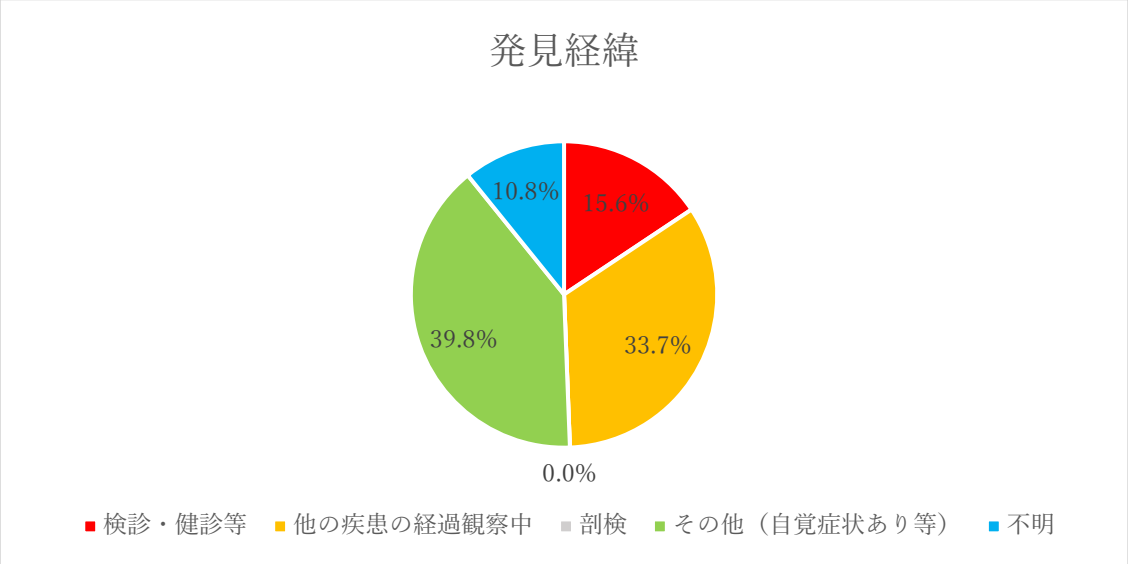
（注）一次医療圏：原則として市区町村。三次医療圏：原則として都道府県。二次医療圏は一般的な病気の入院治療ができる範囲で、二次医療圏を単位として医療政策が作られます。

≪千葉県の二次医療圏≫

二次医療圏名称	構成市町村
千葉市	千葉市
東葛南部	市川、船橋、習志野、八千代、鎌ケ谷、浦安
東葛北部	松戸、野田、柏、流山、我孫子
印旛	成田、佐倉、四街道、八街、印西、白井、富里、酒々井町、栄町
香取海匝	銚子、旭、匝瑳、香取、神崎町、多古町、東庄町
山武長生夷隅	茂原、東金、勝浦、山武、いすみ、大網白里、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町
安房	館山、鴨川、南房総、鋸南町
君津	木更津、君津、富津、袖ケ浦
市原	市原

【発見経緯】
住民検診や職場健診・人間ドック等、自覚症状がないうちにがんが発見された人の割合です。
早期発見のためには、この割合が増加することが理想とされています。

全国平均	全国最小値	全国最大値	当院
14.1%	0.0%	38.0%	15.6%



当院のがん患者さんが、なにをきっかけにして病院にかかり、がんと診断されるに至ったのかを表しています。
当院では、がん検診の二次検診や人間ドックも行っており、検診・健診をきっかけに発見されるがんも一定数あります。
また、2019 年に緩和病棟を開設したため、他院で初回治療をした後に紹介される患者さんや診療の過程で詳細な発見経緯が不明となる症例も増えています。
体調不良などの自覚症状があって受診した場合には「その他」に含まれます。
早期発見・早期治療のために、自覚症状がなくても健康診断を受けることをお勧めします。
また、なにかおかしいと感じたら、早めに受診しましょう。

【部位・種別治療別】

当院で、初発の患者さんにどのような治療を行ったのかを部位とがんの種類ごとに件数で表しました。胃に腫瘍があっても悪性リンパ腫ならば「悪性リンパ腫」に分類しています。がんの種類によって治療の選択肢が異なるためです。
院内がん登録は、再発した患者さんに行った治療は登録しないなど、全国で統一したルールがあります。そのため、手術を行っていても「治療なし」となるなど、実際の治療内容とは異なる場合があります。
9 件以下については、患者さんの特定を避けるための表示ルールに則り「1-3」「4-6」「7-9」の 3 段階に分けて表示しています。

≪表の略称と治療内容≫

略称	治療の内容
手	手術のみ※１
内	内視鏡のみ
手+内	手術+内視鏡
放	放射線のみ
薬	薬物のみ※２
放+薬	放射線+薬物
薬+他	薬物+その他
手/内+放	手術/内視鏡+放射線
手/内+薬	手術/内視鏡+薬物
手/内+他	手術/内視鏡+その他
手/内+放+薬	手術/内視鏡+放射線+薬物
他	その他治療※３/その他の組み合わせ
治療なし	治療なし※４

※1　外科的治療と体腔鏡的治療のいずれか、または両方を行っている場合
※2　化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法のいずれかひとつ、または複数を行っている場合
※3　肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、その他の治療のうちひとつ、または複数を行っている場合
※4　当院で「がん」と診断し他院に紹介した場合、他院で治療をした後に再発などで紹介された場合、患者さんの身体状況やがんの進行度合いから積極的な治療を行わずに疼痛をやわらげる治療を行った場合等

部位	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし	合計
口腔･咽頭	(4-6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	29	35
食道	(1-3)	(4-6)	0	(4-6)	(1-3)	(4-6)	0	0	(1-3)	0	0	0	20	41
胃	23	22	(1-3)	0	(7-9)	(1-3)	0	0	16	0	0	0	34	106
小腸	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(4-6)
結腸	55	37	(1-3)	0	(4-6)	0	0	0	23	(1-3)	0	0	31	156
直腸	23	13	0	0	(4-6)	0	0	0	12	0	0	0	18	70
肛門/肛門管	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)
肝臓	(7-9)	0	0	0	0	0	(1-3)	0	(1-3)	(1-3)	0	(1-3)	38	53
胆嚢･胆管	(4-6)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	22	32
膵臓	(1-3)	0	0	0	(7-9)	0	0	0	(7-9)	0	0	0	49	66
喉頭	0	0	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	(1-3)	(4-6)
肺	73	0	0	11	39	(7-9)	0	(1-3)	(1-3)	0	(4-6)	0	120	261
骨･軟部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
皮膚	(7-9)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	10
乳房	17	0	0	25	10	0	0	(4-6)	28	0	34	0	29	148
膣･外陰	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)
子宮頚部	26	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(7-9)	35
子宮体部	(4-6)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(4-6)	0	0	0	12	23
卵巣･卵管	13	0	0	0	0	0	0	0	(7-9)	0	0	0	12	33
前立腺	(4-6)	0	0	0	55	(1-3)	0	0	0	0	0	0	33	96
精巣	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)
膀胱	0	(7-9)	(1-3)	(1-3)	0	0	0	0	18	(4-6)	(1-3)	0	17	51
腎･尿路	(7-9)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	18	29
脳神経	(4-6)	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	0	0	37	43
甲状腺	(4-6)	0	0	0	0	(1-3)	0	0	(1-3)	0	0	0	(4-6)	12
悪性リンパ腫	(1-3)	0	0	0	15	0	0	0	(1-3)	0	0	0	13	30
多発性骨髄腫	0	0	0	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(4-6)	(4-6)
他の血液	0	0	0	0	(4-6)	0	0	0	0	0	0	0	(4-6)	(7-9)
その他	(1-3)	0	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	22	26
合計	297	85	(4-6)	43	159	19	(1-3)	(4-6)	132	11	40	(1-3)	586	1,387

※「がん患者ネットワークちば」公表の冊子では、一定期間で治療内容を区切っています。
この表では、1 年後に行われた治療であっても初回治療であればカウントしています。